

# 山田みやこの活動報告

令和元年6月28日(金)

## 連合栃木芳賀地協議会主催の「身近な議員と語ろう」に参加

参加議員 山田 みやこ

春山 則子 真岡市議

池上 正美 真岡市議

事前に各労組から質問を出していただき、調査をしてから私たち議員は回答をさせていただいた。

### 質問

Q1.県道・市道の整備の優先順位の基準は

A1.交通安全プログラムに沿って地元自治体と協議し、緊急性の高い所から整備している。

Q2.通学路の安心安全対策について

A2.各小学校から1km以内を対象とする県内1,400kmを重点的に整備している。2016年から1年間に15km、5年間で75kmの整備目標を立て現在は41kmを整備済み(県内1,400kmの約85%が整備済み)となっている。

Q3.通学路で子どもたちを見守る「スクールガード」

のボランティアさんが減少傾向である今後の対策

A3.平成20年度から「スクールガード」の予算化をしている。当初は86人分を国の予算で賄った。平成21年度から国・県・市町それぞれ1/3ずつの負担。ただし県内7市町は独自予算をとって配置している。確かに人数は高齢のため減少している。今後、地域の協力が更に必要になってくる。



Q4.児童扶養手当受給世帯への更なる支援は

A4.児童扶養手当は市町からの申請を受け、国へ申請する。それ以外の様々な支援は各市町で独自に行っている。県では高等学校就学奨励費や奨学金の貸与、奨学のための給付事業として授業料以外の学用品等の給付で支援。国が1/3・県が2/3を負担している。更に生活困窮者自立支援事業として無料学習支援、家計相談、医療費用免除などを実施。

全般的に生活に密着した質問が多く、子育て現役世代の置かれている現状の課題が浮き彫りとなった。

その他

- ・真岡市政に関して、コミュニケーションバスの公共交通としての役目を再検討
- ・3月に開催されたいちごサミットの経済効果と今後のメリット
- ・市内4つの小学校の廃校後の利活用
- ・2台所有していたSLが1台となった今後、財政的にはどのようにしていくのか

などの質問が出された。